

研修のお申込み

定員 30 名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せて FAX または 郵送で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものをご用意いたしましたので、下記 URL よりダウンロードしてください。

http://www.npo-jam.org/rirekisho/

応募締切は 2014 年 1 月 15 日(水) 必着 です。

※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を 1 月 22 日までにメール (または FAX) にてお送りいたします。

※ なお、メンタルケア協議会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。



東京都 自殺防止のための 電話相談技能研修

2014年
1月～3月

のご案内

電話相談員として働きたい方たちへ

東京都では、自殺防止対策の一環として、電話相談窓口「自殺相談ダイヤル～ここらといのちのほっとライン～」を平成 22 年 4 月から開設しています。

この電話相談に従事する相談員 (非常勤) を育成するための研修を下記のように行います。この研修を受講できるのは、平成 26(2014) 年度から電話相談員 (非常勤) として働きたいと考えておられる方です。

意欲溢れる方々のご応募をお待ちしております。ぜひ参加をご検討ください。

なお、受講された方全員が相談員として採用されるわけではありません。

定員を超える応募があった場合には、2014 (平成 26) 年度に相談員 (非常勤) として働くことが可能な方を優先させていただきます。

研修内容

- 基礎知識習得のための講義
- グループによるロールプレイ
- 相談現場における陪席及び実務体験

研修内容について、詳しくは次ページの「研修日程」をご覧ください。

◎ 修了証の発行

必修項目を含む 8 単位以上を受講した方には、修了証を発行します。

研修会場ご案内

講義とグループロールプレイは下記のいずれかで実施します (※研修日程参照)

ハロー貸会議室 Shibuya (渋谷)

渋谷区渋谷 3-28-8 久我屋ビル 4F

- JR 渋谷駅 (山手線・埼京線) 新南口 徒歩 30 秒
- 東京メトロ銀座線 渋谷駅 / 京王井の頭線 渋谷駅より徒歩約 5 分 (1F がローソンとマクドナルドのビルです)

TKP スター貸会議室 西新宿

東京都新宿区西新宿 1-19-6 8F・9F

- JR 新宿駅南口より徒歩 5 分
- 地下鉄新宿駅 (新宿線・京王線) 7 番出口より徒歩 1 分 (1F が「紳士服はるやま」のビルです)

主催

東京都福祉保健局保健政策部

特定非営利活動法人 メンタルケア協議会

参加登録制
定員 30 名
参加費不要

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ
お名前

年齢 歳 性別 男 ・ 女

ご住所

電話番号 FAX 番号

メールアドレス (原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを) @

受講票の送付や、受講時の必要連絡事項など、原則的にはメール (および添付ファイル) でのやりとりになりますので、ご注意ください。

2014 年度の相談業務に従事することが可能ですか? はい ・ いいえ

⇒ 「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。

※ 土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。

※ 勤務時間帯は [A]13:30 ~ 18:30, [B]18:00 ~ 22:30, [C]22:00 ~ 翌 6:00 です。

履歴書中に
保有資格・実務経験
を忘れずにご記入
ください。

受講希望する研修 (および受講日)

■ 現場研修の参加選択は、必ず一つ以上選択し、参加希望欄に○を書き入れてください。

■ 必修および参加希望する研修のうち実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただき、受講票に記載してお知らせいたします。

研修内容	実施日	時	場所	必修	参加	単位
講義	①子どもや若者の自殺、虐待…	1/25 土	ハロー貸会議室 Shibuya	必修	可・不可	1
	②希死念慮を持つ人の特徴…	1/26 日		必修	可・不可	1
	③法律、制度、サービス等…	2/2 日		必修	可・不可	1
グループロールプレイ	①自殺の相談対応	2/9 日	TKP スター貸会議室 西新宿	必修	可・不可	1
	②他機関へ繋ぐ	2/23 日 3/23 日		必修	可・不可	1
	③相談を受けとめる	3/21 金・祝 3/30 日		必修	可・不可	1
現場研修	①東京夜間こころの電話相談	2/11 火・祝 2/12 水 2/15 土 2/17 月 2/20 木 2/21 金	現地	必修	可・不可	1
	②精神科救急医療情報センター	2/18 火 2/22 土 2/24 月 2/28 金	現地	選択	希望する	1
	③訪問看護ステーション	3/3 月 3/6 木 3/11 火 3/14 金	現地	選択	希望する	1
	④東京ダルク	3/1 土 3/4 火 3/5 水 3/8 土 3/13 木	現地	選択	希望する	1

※東京ダルク現場研修は、タバコの煙が苦手な方はご遠慮ください。



研修日程

研修内容	研修テーマ	日	時	各論テーマ / 備考	講師	場所		
I. 基礎知識 習得のための 講義 各1単位 すべて必修	①子どもや若者の自殺、 虐待や親子間の問題	1/25 (土)	13:30 - 14:00	開講式 今後の研修についてのお知らせ	羽藤 邦利	ハロー貸会議室 Shibuya		
			14:00 - 15:15	講義 1 子どもや若者の自殺の特徴、 対応に気をつけること	大下 隆司			
			15:30 - 15:45	質疑応答				
			15:45 - 16:45	講義 2 精神障害を持つ家族の困難	野村 忠良			
			17:00 - 17:15	質疑応答				
			17:15 - 18:30	講義 3 虐待・親子間の問題への対応	伊東 ゆたか			
	②希死念慮を持つ人の特徴と、 支援のあり方について	1/26 (日)	13:30 - 15:00	講義 1 最近の自殺の動向、 支援対策について	松本 俊彦			
			15:15 - 15:30	質疑応答				
			15:30 - 16:45	グループワーク 自己紹介を兼ねて				
			17:00 - 18:30	講義 2 自殺未遂者支援の現場から	安藤 けい子			
	③精神科医療福祉の法律、 制度、サービス等を理解する	2/2 (日)	13:30 - 14:45	講義 1 東京都のひきこもり支援	青木 紀久代			
			15:00 - 15:15	質疑応答				
			15:15 - 16:30	講義 2 障害者在宅支援サービスについて	吉澤 みどり			
			16:45 - 17:00	質疑応答				
			17:00 - 18:00	講義 3 精神科の入院制度				
			18:00 - 18:30	東京都精神科救急情報センターの利用案内	米澤 理沙 西村 由紀			
	18:45 - 19:00	質疑応答						
	II. グループ ロール プレイ 各1単位 すべて必修	①自殺の相談対応 (模擬事例検討とロールプレイ)	2/9 (日)	13:30 - 18:00			羽藤 邦利 大下 隆司 西村 由紀	TKPスター貸会議室 西新宿
②他機関へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)				2/23 (日) 3/23 (日)	13:30 - 18:00	※ 2/23, 3/23 のどちらか一日に参加	國吉 淨子 荒井 澄子	
						③相談を受けとめる (ロールプレイとグループ)	3/21 (金・祝) 3/30 (日)	
18:00 - 18:30		閉講式	羽藤 邦利					
III. 現場研修 各1単位 ①は必修、 ②～④は 選択		①東京夜間こころの電話相談	2/11(火祝) 2/12(水) 2/15(土) 2/17(月) 2/20(木) 2/21(金)	18:00 - 21:00	電話相談対応の基本 (レクチャー) 相談の陪席 (いずれか1日に参加)	荒井 澄子 國吉 淨子 会田 敏子 西村 由紀	相談室	
					②東京都精神科救急医療 情報センター	2/18(火) 2/22(土) 2/24(月) 2/28(金)		
	③多摩在宅支援センター円・元 (訪問看護ステーション)	3/ 3(月) 3/ 6(木) 3/11(火) 3/14(金)	9:00 - 15:00	訪問看護の実態について (レクチャー) 訪問の同行 (いずれか1日に参加)	寺田 悦子 付添:大塚・壬生・ 平良・都河	ステーション 訪問対象者宅 (立川または八王子)		
	④東京ダルク	3/ 1(土) 3/ 4(火) 3/ 5(水) 3/ 8(土) 3/13(木)	火・土 9:45 - 12:30 水・木 13:15 - 16:00	ダルクの活動について (レクチャー) 自助グループミーティングへの参加 (いずれか1日に参加) ※タバコの煙が苦手な方はご注意ください。	幸田 実 付添:大塚・壬生・ 平良・都河	東京ダルク		
	⑤自殺相談ダイヤル	3月下旬 (全4回)	13:00 - 18:00	※次年度採用予定の方のみ。	西村 由紀	相談室		

※現場研修の研修場所については、1/25 に資料を配布いたします

講師・団体紹介 (50音順)

会田 敏子 (あいだ・としこ)

元多摩総合精神保健福祉センター／東京都の保健所などで保健師として38年間勤務。母子・成人・精神保健などの地域保健活動を実践。とくに精神保健に関しては、地域の対応困難事例を専門に担当する精神専任保健師として活動。夜間電話相談はその活動の一部。

青木 紀久代 (あおき・きくよ)

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授博士(心理学)／臨床心理士。専門は、発達臨床心理学。女性のライフサイクル上に生じる心の不適応的問題と成長について、研究および臨床活動を行っている。H24年4月より東京都ひきこもりサポートネット監修者。年間5千件以上のメールや電話の相談を行っている。

荒井 澄子 (あらい・すみこ)

メンタルケア協議会理事／元南多摩保健所／東京都に39年間勤務。検診機関保健師(がん検診センター)、職域保健師(衛生局、総務局)、福祉保健局本庁(精神保健福祉課)、地域保健師(3つの保健所)など。

安藤 けい子 (あんどう・けいこ)

社団法人山梨県看護協会／山梨県の保健師として34年間勤務し、保健予防の観点から母子保健、感染症、精神保健などの幅広い分野で活躍後、H22年3月末に県職員を退職。H22年4月から現職のライフコーディネーターとして自殺未遂者の支援に携わっており、保健師時代に培ったネットワークを生かして、地域の関係機関に丁寧な繋ぎを行うなど、地域を巻き込んだ支援活動を行なっている。

飯島 睦子 (いじま・むつこ)

東京いのちの電話 研修委員／立教大学学生相談所非常勤カウンセラー

伊東 ゆたか (いとう・ゆたか)

東京都児童相談センター(中央児童相談所)治療指導課長(児童精神科医)／筑波大学卒。東京女子医大小児科、帝京大学精神科等を経てH9年より東京都勤務。被虐待、発達障害、社会的養護にある子どものアセスメント・ケア、親子再統合の業務に携わっている。

大下 隆司 (おおしも・たかし)

メンタルケア協議会理事／代々木の森診療所院長／神戸大学医学部卒業。社会人経験後、医学部に入りなおし、精神科医となる。神戸大学病院、都立墨東病院、明石土山病院、東京女子医科大学病院に勤務。H24年4月より代々木の森診療所院長。

國吉 淨子 (くによし・きよこ)

メンタルケア協議会理事／元都立中部総合精神保健福祉センター／S52～東京都勤務。松沢病院。多摩総合、中部総合精神保健福祉センターなど。

幸田 実 (こうだ・みのる)

東京ダルク・ダルクホーム施設長／ダルクは薬物依存症者に共同生活の場を提供し、薬物を使わない生き方のプログラムを実践することによって、回復を支援する。回復していくための場、時間、回復者モデルを提供し、ナルコティクス アノニマス(NA)の12ステップに基づいたプログラムによって新しい生き方の方向付けをし、各地の自助グループにつなげていく。

竹部 友子 (たけべ・ともこ)

メンタルケア協議会電話相談員／代々木の森相談センター

寺田 悦子 (てらだ・えつこ)

NPO法人多摩在宅支援センター円(えん)理事長／当法人

は居宅介護サービス事業、共同生活援助事業、相談支援事業など「在宅での支援を必要とする高齢者・障がい者・傷病者等がその人らしい豊かで多様な生活ができるよう応援する」を理念に掲げ、多摩地域で各種事業を展開している。特に、精神障がい者へのニーズに込んでいるのが特徴である。居宅介護サービスとしては訪問看護ステーション円、訪問看護ステーション元(げん)。共同生活援助事業にはグループホーム櫻の杜ハウス、グループホームくぬぎの杜がある。相談支援事業には地域活動支援センター連(れん)がある。

内藤 武 (ないとう・たけし)

メンタルケア協議会理事／元立教大学学生相談所インターカー／「東京いのちの電話」土曜医療面接員、ロンドン滞在中(H3年～H4年)「Samaritans(自殺予防電話相談)」の日本語ラインの相談員などを担当し、現在は「埼玉いのちの電話」の研修に従事。

西村 由紀 (にしむら・ゆき)

メンタルケア協議会理事／東京都精神科救急情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京自殺相談ダイヤルの立ち上げと運営に携わる。精神保健福祉士。

野村 忠良 (のむら・ただよし)

東京都精神障害者家族会連合会(東京つくし会)会長／S39年4月東京教育大学文学部哲学科入学。S44年3月中途除籍。S41年臨済宗廣徳寺で僧籍に入り、S45年離籍。S47年知的障害児入所施設社会福祉法人滝乃川学園就職。S50年府中市精神障害者を守る家族会入会。S64年滝乃川学園退職。精神障害者小規模作業所「梅の木の家共同作業所」就職。H7年同「レスポワール工房」異動。H16年同施設定年退職。H17年東京都精神障害者家族会連合会会長就任、現在に至る。

羽藤 邦利 (はとう・くにとし)

メンタルケア協議会理事長／S42京大医学部卒。富士病院、東京都立松沢病院を経て、S58代々木の森診療所開設。H2年1月より代々木の森診療所院長。H24年4月より同診療所理事長。専門：臨床精神医学一般。

松本 俊彦 (まつもと・としひこ)

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター副センター長／佐賀医科大学医学部卒業後、神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学医学部附属病院精神科、国立精神・神経センター精神保健研究所司法精神医学研究部などを経て、H19より同研究所自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長、H20より薬物依存研究部室長を併任、H22より現職。日本アルコール精神医学会理事、日本青年期精神療学会理事など。

望月 理子 (もちづき・あやこ)

地方独立行政法人山梨県立病院機構 中央病院 周産期・救急看護科1C病棟 主任看護師／県立中央病院内の様々な科の看護の経験があり、現在は、周産期・救急看護科1C病棟(救命救急センター)の主任看護師で、自殺再企図防止ケア事業については、事業開始当初から関わり、病棟内では中心的な役割を担っている。

吉澤 みどり (よしざわ・みどり)

渋谷区保健所地域保健課 保健指導主査(精神担当)

米澤 理沙 (よねざわ・りさ)

社会福祉法人 桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院／精神科救急入院料病棟担当 精神保健福祉士